

株主・投資家の皆様へ

LINTEC

WAVE

リンテックウェーブ

*Linking
your
dreams*

SEPTEMBER 2022

88

● 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長
社長執行役員

服部 真

● スペシャルレポート

リンテックの北米ラベル関連事業

第129期
(2023年3月期)
第1四半期
決算情報

証券コード: 7966



つたぬま

鳥沼 (青森県)

とわだはちまんたい

十和田八幡平国立公園内、十和田湖から北に10kmほど離れたところに点在する湖沼群の一つ。秋には、朝日に照らされたブナの紅葉が湖面に映り、燃えるような赤色に包まれる。

目次

2 連結業績推移

3 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長
社長執行役員

服部 真

4 スペシャルレポート

リンテックの北米ラベル関連事業

8 FRONT LINE

9 2022年度 新聞広告シリーズ

10 決算情報

12 セグメント情報

15 株式情報

※前連結会計年度において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間に係る連結経営成績の数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

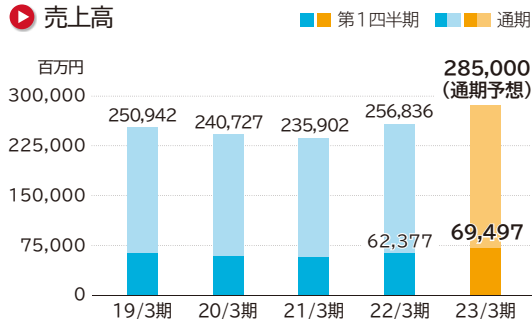
※当第1四半期連結会計期間において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に係る連結財政状態の数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

(免責事項)

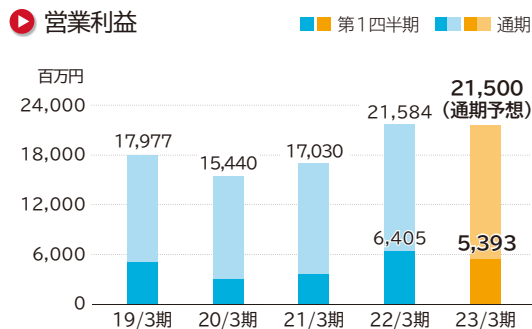
業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

連結業績推移

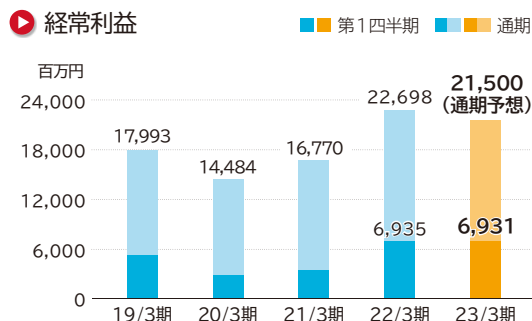
売上高



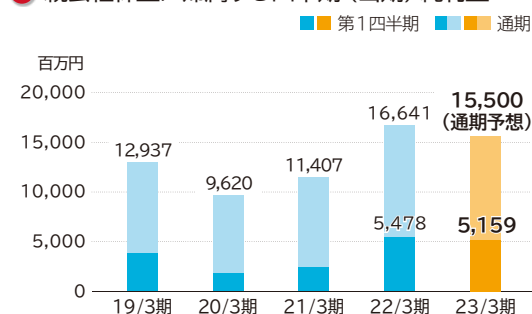
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益



株主・投資家の皆様へ

▶ 2023年3月期第1四半期連結累計期間(前年同期比)

売上高

69,497 百万円 (11.4%増)

営業利益

5,393 百万円 (15.8%減)

経常利益

6,931 百万円 (0.1%減)

親会社株主に帰属する四半期純利益

5,159 百万円 (5.8%減)

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの2023年3月期第1四半期連結累計期間の業績は、今年2月に米国の粘着製品メーカーの事業を譲り受けて新たに設立したスピネカー社が加わったことや円安効果などによって売上高は増加したものの、利益面ではパルプをはじめとする原燃料価格や物流コスト上昇の影響を大きく受け、上記のとおり増収減益となりました。

▶ 2023年3月期 連結業績予想(前期比)

売上高	2,850億円 (11.0%増)
営業利益	215億円 (0.4%減)
経常利益	215億円 (5.3%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	155億円 (6.9%減)



今後につきましては、原燃料価格のさらなる高騰やコロナ禍に伴う経済活動の減速も懸念されるなど、厳しい事業環境が続くものと予想されます。そのような中、徹底的なコストの削減や生産性の向上、価格改定などに取り組み、中期経営計画「LSV 2030-Stage 1」の経営目標達成を全社一丸となって目指してまいります。

株主・投資家の皆様には引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

▶ 「LSV 2030-Stage 1」2024年3月期 経営目標

売上高	3,000億円
営業利益	240億円
親会社株主に帰属する当期純利益	170億円
売上高営業利益率	8%以上
ROE(自己資本当期純利益率)	8%以上

リンテックの北米ラベル関連事業

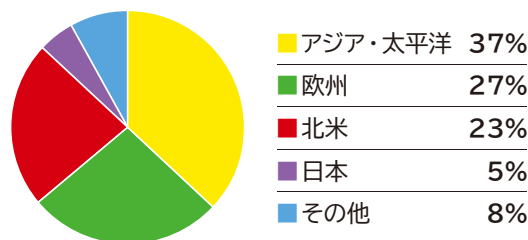
シール・ラベル用粘着製品の国内リーディングカンパニーである当社では、海外での事業拡大を加速させています。特に近年では、北米市場において米国子会社のマックタック・アメリカ社の生産能力や販売力の拡充を推進。今号では、当社グループの成長の鍵を握る北米ラベル関連事業についてご紹介します。

安定成長を続ける北米市場

世界の粘着ラベル市場において、北米市場は出荷量で約23%のシェアを占めており、アジア・太平洋地域や欧州に次いで3番目に大きな市場規模となります。その

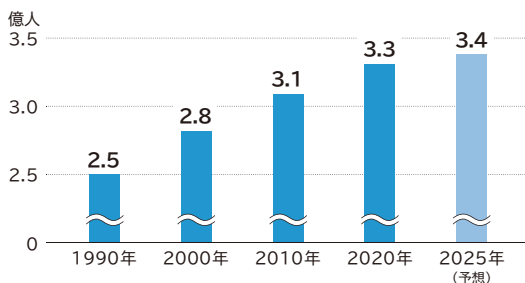
中心となる米国は先進国の中でも人口が増加し続けていることもあり、今後も北米の粘着ラベル市場は年率3%以上の安定成長が続くと見込まれています。

世界の粘着ラベル出荷量 地域別構成比(2020年)



出所：日本のラベル市場2022(ラベル新聞社)

米国の人口推移



出所：IMF(国際通貨基金)

北米市場で確固たる地位を築いているマックタック・アメリカ社

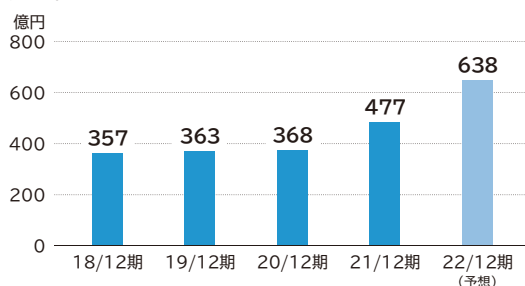
当社グループでは1980年代以降、アジア地域を中心に海外におけるラベル関連事業を拡大させてきましたが、2016年12月にマックタック・アメリカ社を買収したことで、北米市場への本格参入を果たしました。同社はシール・ラベル用粘着紙・粘着フィルムメーカーで、壁面などの装飾用グラフィックフィルムや各種工業用・医療用テープの製造・販売も行っています。米国だけでなくメキシコにも生産拠点を構え、広大な北米市場全域をカバーする販売・裁断出荷体制を整備。1,000社を超える顧客に充実したサービスを提供しており、北米市場において確固たる地位を築いています。

また同社は、これまで当社グループにはなかったホットメルト粘着剤の優れた処方技術や高速塗工設備などを有しています。この粘着剤は環境への負荷が少なく、冷凍・結露面や粗面といった貼り付けが難しい対象物に対しても強力な粘着力を発揮するのが特徴で、現在、日本国内をはじめ東南アジアや欧州市場においても同社製品の拡販を進めています。さらに日本からスタッフを派遣して、当社の高付加価値フィルム製品を北米市場で積極的に展開しています。



会社名：マックタック・アメリカ社
所在地：米国・オハイオ州
従業員数：763人(2021年12月末現在)
売上高：477億円(2021年12月期)
事業内容：シール・ラベル用粘着製品、グラフィックフィルムなどの製造・販売

売上高



マックタック・アメリカ社のシール・ラベル用粘着製品



北米市場でも好評を得ているリンテックの油面用ラベル素材

相次ぐ買収により事業基盤を拡大

当社グループでは、米国の経済成長に伴うラベル関連市場の需要が増加する中、マックタック・アメリカ社の生産能力の増強を図ることを目的に、2021年4月に米国の粘着製品メーカーであるデュラマーク社を買収。さらに今年2月には同業メーカー

の事業を譲り受け、スピネカー社を設立してマックタックグループに加えるなど、北米市場での積極的な投資を行ってきました。これらにより同グループの北米市場におけるシェアは大幅に上昇し、今後もさらなる拡大を目指していきます。



旧デュラマーク社 ※2021年12月、マックタック・アメリカ社の子会社に統合

フィルムタイプのシール・ラベル用粘着製品を中心にさまざまな粘着剤処方や高速塗工に対応した最新鋭の生産設備を有していることに加え、グラフィックフィルムなどの一貫生産体制を整えています。同社の買収により、マックタックグループの生産能力が大幅に増強されたほか、生産を集約・効率化することで最適な生産体制を確立しました。



スピネカー社

多品種・少量生産に対応した各種シール・ラベル用粘着製品を製造・販売しています。特に中小規模の顧客へのきめ細かなサービスや幅広い品ぞろえが強みで、汎用タイプのシール・ラベル用粘着製品を大量生産するマックタック・アメリカ社とは異なるサービスモデルを展開することから、グループとしての市場対応力が一段と強化されました。



FOCUS

ホットメルト粘着剤を使用したシール・ラベル用粘着製品

ホットメルト粘着剤は熱で溶かして塗工する粘着剤で、塗工時に有機溶剤で希釈する必要がないため、溶剤を使う粘着剤と比べて環境負荷が小さいのが特徴です。マックタック・アメリカ社のホットメルト製品の中では、低温環境でも優れた粘着力を発揮し、マイナス20℃でも貼付できる「CHILL AT」シリーズチル エーティーが多くの顧客から好評を得ており、冷凍保存される商品などの表示ラベルとして国内外で拡販を図っています。



凍っている対象物にもしっかりと貼付可能

INTERVIEW

米国の地域統括会社であるリンテック・USAホールディング社のトップに、今後の北米におけるラベル関連事業の展望などについて聞きました。

米国経済は日本同様にコロナ禍による行動制限で一時的に低迷しましたが、昨年からは回復基調となり、ラベル関連市場の需要も順調に推移しています。そのような中で、最新鋭の量産設備を持つ旧デュラマーク社やマックタック・アメリカ社とは異なる分野で強みを発揮するスピネカー社をグループに迎えられたことは、今後の事業拡大に向けて非常に大きな意味があります。マックタック・アメリカ社は2016年の買収以降、営業赤字が続いていますが、これは2026年度まで買収に伴うのれん償却負担があるためで、実質的には安定した事業採算性を持っています。足元の状況は原燃料価格の高騰などで厳しい経営環境ではありますが、今般2社がグループに加わった効果は確実に出てきており、生産設備の最適化や生産性の向上を図ることで収益性を高め、早期にのれん償却後の営業黒字化を目指していきます。



リンテック・USAホールディング社
社長

ので かずよし
野出 和義